環境活動レポート





沼津市山王公園より

発行日 令和6年5月1日 (令和5年4月1日~令和6年3月31日実績)







目 次

会社概要	1
事業の規模	1
新日本設計株式会社 品質·環境方針	2
エコアクション組織図及び実施体制	3
緊急時連絡網	3
環境活動計画	4
環境コミュニケーション	4
中期目標 第38期~第40期	5
第40期 環境活動の取組実績	6
地域貢献活動	7
防災訓練の記録	8
環境活動計画の取組と評価・次年度計画	9
中期目標 第41期~第43期	10
環境関連法規	11
当社のSDGsの取組み	12
代表者による評価と見直し・指示	13

会社概要

商号 新日本設計株式会社

代表者 代表取締役 門奈 英治

本社 〒410-0001 静岡県沼津市足高 547-2

環境管理責任者及び担当者 業務管理部長 井上 勝之

TEL (055) 924-2801 FAX (055) 924-2803

Email: shin-nihon@snsk.jp https://www.akaruimirai.co.jp

支店・営業所 東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川2丁目30-11 新川OMKビル4F

TEL (03)3523-6788 FAX (03)3523-6789

三島支店 〒411-0816 静岡県三島市梅名391-1 ヴァンヴェール梅名外苑 210号

TEL (055)946-5910 FAX (055)946-5911

静岡支店 〒422-8064 静岡県静岡市駿河区新川1丁目9-13

TEL (054)269-6277 FAX (054)269-6278

伊豆営業所 〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺3461-7

下田営業所 〒413-0716 静岡県下田市須原1108-4

TEL (0558)36-4551 FAX (0558)36-4552

富士営業所 〒417-0052 静岡県富士市中央町1丁目10-23 東海レジデンス富士205

TEL (0545)67-1230 FAX (0545)67-1255

富士宮営業所 〒418-0051 静岡県富士宮市淀師495-7 コーポTOMIOKA102

TEL (0544)26-0580 FAX (0544)66-8580

掛川営業所 〒416-0017 静岡県掛川市杉谷2-19-1 シャトレA202

TEL (0537)28-9630 FAX (0537)28-9631

磐田営業所 〒438-0805 静岡県磐田市池田973

TEL (0538)31-3136 FAX (0538)31-3137

浜松営業所 〒430-0925 静岡県浜松市中央区寺島町17番地 フレクション浜松 I 103

TEL (053)522-9570 FAX (053)522-9571

建設コンサルタント登録建 01 第 8211 号地質調査業登録質 05 第 2910 号補償コンサルタント登録補 06 第 4752 号

一級建築事務所登録 県知事(3) 第 7109 号

労働者派遣事業登録 派22-300794 品質マネジメントシステム登録 Q2857

適用規格 JIS Q 9001:2015 / ISO 9001:2015

事業活動 建設コンサルタント、測量、地質調査、補償コンサルタント、建築物の設計及び

工事監理に関する業務

設立 昭和 59年 5月 2日

資本金 4,000万円

対象範囲新日本設計株式会社全組織、全活動を対象にする

年商 8億86百万円(第40期(2023年度)実績)

総人数 95 名(2024年5月1日現在)

事業の規模

活動の規模	単 位	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
売 上 高	百万円	702	813	948	1007	861	886
従 業 員	人	80.8	85	85. 6	85. 4	81.8	90.8
床面積	m [*]	1062	1240	1218	1371	1371	1392
社有車台数	台	31. 17	31. 25	31.75	35. 17	36. 42	37. 33

新日本設計株式会社 品質•環境方針

当社の最終目標は社会貢献と従業員の幸福です。当社は、従業員が自己の役割を認識し、自己の可能性を発揮し、自己の人間力を育成し、企業活動を継続することにより社会貢献を達成するため、SDGsの理念を踏まえつつ次のことを行います。

- 1. 品質・環境マネジメントシステムを確実に実施し、社会から信頼される企業となります。
- 2. 品質・環境の目標を定め達成します。
- 3. 教育と啓蒙活動を通じ、技術と環境意識の向上に努めます。
- 4. 当社業務に関連する法規制及び、その他の要求事項を遵守します。
- 5. グリーン社会を目指し、脱炭素社会の実現に寄与します。
- 6. 男女平等を基本に適材適所に人材を配置し、従業員のやりがいと生産性向上の 両立を目指します。
- 7. 品質・環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

 2022
 年
 5
 月
 1
 日

 新日本設計株式会社 代表取締役
 門奈英治



エコアクション組織図及び実施体制

2024年5月1日

総括責任者 代表取締役 門奈 英治

- 経営の課題とチャンスの明確化
- •環境方針の策定
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境経営システムの実施及び管理に必要な資源(人材・物・資金)の用意
- ・環境活動レポートの承認
- ・全体の取組状況の評価と見直し

環境管理責任者 業務管理部長 井上 勝之

- ・経営者に代わり、システム運用の実施、管理、監査
- ·全体計画の立案
- ·文書の作成管理
- 一般教育の実施
- ・環境活動の取組結果を経営者に報告

エコドライブ 業務部営業課 米山 巧

エコドライブについて

- ・環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告と全社活動の推進
- ・問題点の発見、是正、予防処置

省エネルギー 業務管理部業務管理課 中西 郁美

省エネルギーについて

- ・環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告と全社活動の推進
- ・問題点の発見、是正、予防処置

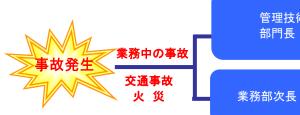
ごみ分別・リサイクル 業務部総務課 土屋 章子

ごみ分別、リサイクルについて

- ・環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告と全社活動の推進
- ・問題点の発見、是正、予防処置

緊急時連絡網

2024年5月1日



管理技術者 部門長

土屋 章子

業務部企画営業部長 松田敏之 代表取締役 門奈 英治

代表取締役 門奈 英治

- ※ 緊急時の連絡体制は業務毎に設置している
- ※ 震災発生時は、携帯電話が不通になる可能性もあるため、メールを活用する
- ※ 電子データのバックアップ体制は、VPNを活用し拠点へシステム構築

環境活動計画

2024年5月1日

二酸化炭素排出(電気・燃料)の削減

- ・使用していない箇所及び昼休みの電灯スイッチのOff
- 窓ガラス清掃により太陽光による社内照度を上げる
- ・エアコン設定温度の適正化
- ・クールビズ、ウォームビズの推奨
- フィルタ定期清掃
- 低排気車輌の継続購入
- ・全車両のエコドライブの周知
- A) 不必要なアイドリングの禁止
- B) 急発進·急加速の禁止
- C) エンジンブレーキの積極使用
- D) エアコンは控えめ
- E) 計画的な運転(ルート・他部署との情報共有)
- F) タイヤの空気圧の定期チェック
- G) 駐停車中のエンジンのOff



・備品類購入は、対象となる 全てに於いて、グリーン購入を実施

・ダンボール、雑誌等紙類のリサイクル

・ペットボトル、瓶、缶等飲料容器の

地域貢献

·市内一斉清掃(沼津)

グリーン購入の推奨

廃棄物排出量の削減 再生紙の積極使用

リサイクルの推進

リサイクル

・コピー用紙の両面使用 ・コピー用紙の再使用

職場環境

- •熱中症対策
- ・WEB会議の実施

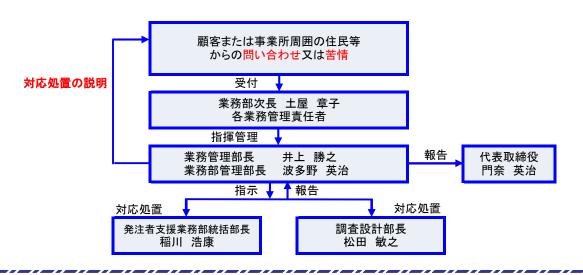
水使用量の削減

・水漏れ点検の実施の維持

環境コミュニケーション

2024年5月1日

問合せ及び苦情等の受付フロー



中期目標 第38期~第40期

2021年5月1日 (2023年5月1日再設定)

中期目標:第38期(2021年度)~第40期(2023年度)

	項目単位			中期目標:第38期(2021年度)~第40期(2023年度)									
	供 口	半位	第38期目]標(第37期比)	第39期目	標(第37期比)	第40期目標(第37期比)						
二酸	購入電力	KWh/人	0. 0% 987. 8		0.0%	987. 8	0.0%	987. 8					
化	ガソリン使用量	0/台	-2.0%	1, 187. 0	-4. 6%	1, 154. 9	-35. 5%	781. 6					
炭素	CO₂総排出量	Kg-CO2	-1.3%	117, 409. 4	-3.3%	115, 022. 1	-18.6%	96, 891. 9					
7	水使用量		0. 0%	7. 3	0.0%	7. 3	0.0%	7. 3					
廃ӭ	棄物排出量	Kg/人	0. 0%	44. 0	0.0%	44. 0	0.0%	44. 0					

業務における環境配慮提案

			中期目標:第38期(2021年度)~第40期(2023年度)											
項目	目 基礎.	単位	第38期	第38期目標(第37期比) 第39期目標(第37期比)						第40期目標(第37期比)]比)	
			点数		件数	₹	点数		件数	ζ	点数		件数	Į
提案が採用された	3	点	18	点	6	件	18	点	6	件	18	点	6	件
比較で具体的な提案を行った	2	点	4	点	2	件	4	点	2	件	4	点	2	件
環境配慮の視点を入れた	1	点	2	点	2	件	2	点	2	件	2	点	2	件
目標点数				2	4	点		2	4	点		2	4	点

- ※ 二酸化炭素排出量関連項目は2013年度比で2030年までに46%削減する。(日本の削減目標と同じ) 購入電力は、2019年に太陽光パネルを設置したため、大幅な削減は考えられないため目標値は0%とする。 ガソリン使用料をHV車を計画的に導入することにより、二酸化炭素総排出量を削減する。
 - 水、廃棄物については、少量につき節減はするが目標数値は0%とする。
- ※ 建設資材・事務用品等のグリーン購入は目標設定が困難なため活動のみとする。
- ※ 業務における環境配慮提案は引き続き目標値を設定した。
- ※ 環境配慮提案については業務の性質上、調査測量業務や発注者支援業務での目標設定が困難なため 設計業務、調査業務のみとする。

第40期 環境活動の取組実績

40期実績 (期間:2023年4月~2024年3月)

40	+0州关稿 (州间·2023年4月~2024年3月)													
			第40期 実績											
	項 目	使用量	(総量)	単	位	使用量(単	位当たり)							
				(社員数•床面	積•社有車数)									
_	購入電力	66, 038. 0	KWh	73. 5	人	898. 5	KWh/人							
酸	購入电力	00, 038. 0	KWh	1, 391. 6	m ^²	47. 5	KWh/m²							
化	がソリン使用量	31, 761. 0	Q	37. 1	台	856. 3	0/台							
炭素	LPG使用量	6. 6	Kg	73. 5	人	0. 1	Kg/人							
糸	CO2総排出量 100,068.9		Kg-CO2	73. 5	人	1, 361. 5	Kg-CO2/人							
	水使用量	500. 0	m [®]	73. 5	人	6. 8	m³/人							
廃棄物排出量		2, 165. 5	Kg	73. 5	人	29. 5	Kg/人							

業務における環境配慮提案

NAME OF THE PROPERTY OF THE PR							
項目	基礎単位	第40期 実績					
人	圣诞丰世	件	数	点数			
提案が採用された	3 点	9	件	27	点		
比較で具体的な提案を行った	2 点	2	件	4	点		
環境配慮の視点を入れた	1 点	3	件	3	点		
点数		14	件	34	卢		

- ※ 環境配慮提案は2021年5月1日に中期目標値を設定した。
- ※ 電気の事業者別二酸化炭素排出係数は東京電力0.376(kg-CO2/kWh)、中部電力0.459(kg-CO2/kWh)ーを使用。 (いずれも2022年度実績である)
- ※ 社有車数はガソリン車・HV車の合計であり、EV車は除く

月標達成評価

	冰足沙山區									
	- 	第37期	実績	5	有40期 目標	= -	É		=π /π:	
	項目	使用	量	削減率※	使用	量	削減率※ 使用量			評価
1	購入電力	987. 8	987.8 KWh/人		987. 8	KWh/人	-9.0%	898. 5	KWh/人	達成
酸化	(株/八电/)	56. 0	KWh/m ²	0.0%	56. 0	KWh/mੈ	-15.2%	47. 5	KWh/m ²	達成
炭	ガソリン使用量	1, 210. 9	0/台	-35.5%	781. 6	0/台	-29.3%	856. 3	0/台	未達成
素	CO2総排出量	118, 998. 3	Kg-CO ₂	-18.6%	96, 891. 9	Kg-CO ₂	-15.9%	100, 068. 9	Kg-CO2	未達成
	水使用量	7. 3	m³/人	0.0%	7. 3	m³/人	-6.5%	6.8	m³/人	達成
	廃棄物排出量	44. 0	Kg/人	0.0%	44. 0	Kg/人	-33.0%	29. 5	Kg/人	達成
	環境配慮提案	31	点		24	点		34	点	達成

[※] 削減率目標は、第37期実績を基準に設定

評価と是正処置

	Scott Control of the	
項目	評価 • 原 因	是正及び予防処置
購入電力	購入電力の減少は、日照による太陽光発電量増と曇 天の減少に起因するが、社員個人の業務効率化の努 力による日没後の作業減も好影響したと思われる	省電力機器や蓄電設備の導入、支店の太 陽光パネル設置等の検討を進める。
ガソリン使用量	受注量の増および業務エリア拡大の関係で目標は達成できなかった。なお今期は、車両2台をHV車・EV車各1台に入れ替えた。	さらなるエコカー導入を推進すると共に、エ コドライブ意識向上の教育を徹底する。
水使用量	従業員数が増加したので社全体の水使用量が増加したのはやむを得ない。ただし一人当たりの使用量は減となっており、社員の節水意識の向上が見られる。	節水意識のさらなる向上を図る。
廃棄物排出量	一人あたり紙使用量が、39期比で24%減少している。 これは成果品提出の電子化が進展したことによるもの と見られる。	古紙リサイクルをさらに推進するとともに、 両面印刷、書類電子化を徹底する。
環境配慮提案	環境に配慮した工法を14件提案し、内9件で評価を受けた。39期比で提案数は5件増加しており、社員の環境への積極性を反映したものといえる	引き続き環境への貢献意識をもって提案し ていくよう、社員を指導する。

地域貢献活動への参加

・2023年11月の沼津市「市内一斉クリーン週間」において、恒例の愛鷹広域公園及び公園周辺の清掃活動を実施した。

地域貢献活動

2023

沼津市の市内一斉クリーン週間に賛同し、社員総出で参加しました。 当日は、近隣道路や道路設備を点検しながら、たばこの吸い殻やペット ボトル等を拾い集めました。



実施日時:令和5年11月15日(水) 15:30~16:30

清掃場所:愛鷹広域公園及び公園周辺

参加人数:30名

回収ごみ:200 14袋

450 10袋



防災訓練の記録

訓練日時:2023年12月28日(木)

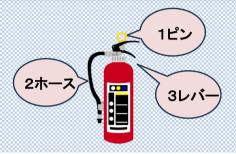
訓練内容:・火災発生(火元:東社屋2階女子更衣室)を想定した避難訓練

(火災発生からの避難、安否確認までの実地訓練)

・消火器の使用方法について

(沼津北消防署の指導のもと実施訓練)

避難場所:本社南側駐車場







静岡支店





静岡支店では、 避難経路の確認を行いました

評価•改善

今年は、火災を想定した防災訓練を計画し、通報班、誘導班、消火班のそれぞれの役割を確認しながら訓練を実施した。更に、コロナ禍も明けたことで、消防職員による消火活動の指導を要請し、若手社員を中心に実際に水消火器を使用した消化訓練を行った。 毎年、震災や水災など様々な災害を想定し継続的に実施することで、有事の時には各人が迷わず行動できるよう訓練を実施していきたい。

環境活動計画の取組と評価・次年度計画

2024年5月1日

目的	区分	項目	担当者	洋動百日		第40期	次年度計画
נים 🗀	四刀	块口	担当日	活動項目		実績・評価/内容	内容
	太陽	易光発電	システ	ムの導入	0	継続実施	検討中
				・使用していない箇所の電灯Off	0	継続実施	継続導入
		照		・窓ガラス清掃により太陽光による社内照度を上げる	0	清掃実施	継続導入
		明		・人感センサーの導入	0	現在駐車場のみ	継続導入
	購		中	・昼休み時間中の全社消灯	0	徹底されている	継続導入
	入		茜	·エアコン設定温度の適正化(夏28℃冬20℃)	0	徹底されている	継続導入
	電		郁	・クールビズ、ウォームビズの推奨	0	徹底されている	継続導入
酸	カ	空	美	・使用していない空調設備の停止	0	徹底されている	継続導入
化		調		・フィルタ定期清掃	0	清掃実施	継続導入
炭				・遮光対策(カーテン等)	0	継続実施	継続導入
素				・断熱化対策(スモークガラス等)	0	継続実施	継続導入
め Au				・低燃費車輌の購入	0	新規車両導入時	継続導入
削減				・全車両のエコドライブの周知	0	徹底されている	継続導入
"~				A) 不必要なアイドリングの禁止	0	徹底されている	継続導入
	ガ	社	米	B) 急発進·急加速の禁止	0	徹底されている	継続導入
	ソリ	有	山	C)エンジンブレーキの積極使用	0	徹底されている	継続導入
	ッン	車	巧	D) エアコンを控えめに	0	徹底されている	継続導入
				E) 情報共有及び計画的な運転(ルート)	0	徹底されている	継続導入
				F)タイヤの空気圧のチェック	0	徹底されている	継続導入
				G) 駐停車中のエンジンのOff	0	徹底されている	継続導入
節	上		中	・水漏れ点検の実施	0	点検実施	継続導入
水	水		西				
				・再生紙の積極使用		徹底されている	継続導入
廃棄		事 務		・コピー用紙の両面使用・再使用		徹底されている	継続導入
物		用		・ファイルの再使用	0	徹底されている	継続導入
$\tilde{\sigma}$	事	品	土屋	・封筒の再利用	_	徹底されている	継続導入
ij	務	<u></u>	屋 章 子	・廃棄物の分別とリサイクル	0	徹底されている	継続導入
サイ	所	紙 類	字	・ペットボトル、瓶、缶等飲料容器のリサイクル	0	徹底されている	継続導入
7		対 ・		・名刺の自社制作		徹底されている	継続導入
ル		他		・資料のPDF化	0	徹底されている	継続導入
				•集約化購買		徹底されている	継続導入
グ	事			・備品類等の新規購入に於いてグリーン購入	0	徹底されている	継続導入
リーン	務用		土屋章	・環境ラベル対応品の購入(GPN掲載商品等)	0	徹底されている	継続導入
購	品		무 子	・何回も使用できる物品の購入	0	徹底されている	継続導入
闪	他		'				
—				•市内一斉清掃(沼津市)	0	参加	継続導入
貢地 献域			米山	・災害復旧事業への協力	0	参加	継続導入
HIA 均			ГШ				
職	事			・新型コロナウイルス対策(消毒・アクリルパネル設置等)	0	継続実施(アクリル板撤去)	消毒継続
境場	務		土屋	・テレワーク体制の構築	0	継続実施	継続導入
環	所		产	・Web会議の実施	0	継続実施	継続導入

[※] 判定について

[「]〇」実施でき、有効であった

^{「△」}実施できたが、改善の余地あり

^{「×」}実施できなかった。

中期目標 第41期~第43期

2024年5月1日

中期目標:第41期(2024年度)~第43期(2026年度)

			中期目標:第41期(2024年度)~第43期(2026年度)									
	項目	単位	第41	期目標	第一	42期目標	第43期目標					
			削減率	使用量	削減率	使用量	削減率	使用量				
一酸	購入電力 KWh/人		-11. 1%	922. 1	-12. 2%	910. 0	-13.4%	898. 2				
化	ガソリン使用量	0/台	-11. 4%	758. 5	-12. 7%	747. 7	-15. 2%	726. 2				
素	炭 素 CO2総排出量		-7. 0%	92, 808. 2	-7. 9%	91, 909. 6	-9. 7%	90, 112. 3				
7	水使用量	m³/人	-2.0%	6. 7	-3. 3%	6. 6	-4. 5%	6. 5				
廃到	棄物排出量	Kg/人	-2.0%	28. 9	-3.3%	28. 5	-4. 5%	28. 1				

※削減率目標 ガソリン使用量・CO2排出量・水使用量・廃棄物排出量は「第40期比」 購入電力は「第38期~第40期実績の平均値」を基準に設定

業務における環境配慮提案

	中期目標:第41期(2024年度)~第43期(2026年度)												
項目	基礎単位	第	41期目	標		Ė	第42 其	胡目標		QI.S	第43其	月目標	
		点	数	件数	Ţ	点数		件娄	女	点数		件数	ţ
提案が採用された	3 点	18	18 点		件	18	点	6	件	18	点	6	件
比較で具体的な提案を行った	2 点	4	点	2	件	4	点	2	件	4	点	2	件
環境配慮の視点を入れた	1 点	2	点	2	件	2	点	2	件	2	点	2	件
目標点数			2	4	点		2	4	点		2	4	点

- ※ 二酸化炭素排出量関連項目は2013年度比で2030年までに46%削減する。(日本の削減目標と同じ) 購入電力は、2019年に太陽光パネルを設置したため、大幅な削減は考えられないため、 従業員が増員しても現在の総購入電力を維持するよう努める。 ガソリン使用料は社有車のHV車を計画的に導入することにより、二酸化炭素総排出量を削減する。 水、廃棄物については、少量につき現在の資料量・排出量を維持するよう努める。
- ※ 建設資材・事務用品等のグリーン購入は目標設定が困難なため活動のみとする。
- ※ 業務における環境配慮提案は引き続き目標値を設定した。
- ※ 環境配慮提案については業務の性質上、調査測量業務や発注者支援業務での目標設定が困難なため 設計業務、調査業務のみとする。

環境関連法規

評価日 2024年5月1日 評価者 環境管理責任者 井上 勝之

法令·法規等	条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価
	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	0
	第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	・保管基準の遵守、保管場所の表示(60cm×60cm 以 上掲示) ・廃棄物の悪臭・飛散防止	0
	第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	0
	第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約書の締結	Ō
	第12条の3第1項	マニフェストの交付		0
at at all to a most cate at all as to am	第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	0
廃棄物処理法(廃棄物の処理 及び清掃に関する法律)	第12条の3第3項	収集・運搬業者の管理票交付者へのマニフェスト返却	B1票の90日以内の送付等	0
	第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	0
	第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	Ô
	第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのB2(90日以内),D,E票(180日 以内)の期間内返却	0
	第14条第1項	産業廃棄物の収集運搬業の許可	県知事の許可	0
	第14条第12項	産業廃棄物処理基準の遵守	産業廃棄物収集運搬業者	0
	第14条の2	産業廃棄物の収集運搬業の許可等変更	県知事の許可	0
	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	0
浄化槽法	第10条の2	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事へ提出	0
	第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	0
家電リサイクル法(特定家庭用 機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等へ の適切な引き渡し、料金の支払	指定家電(テレビ・冷蔵庫他)廃棄時のサイクル料金の 支払	0
自動車リサイクル法(使用済自 動車の再資源化等に関する法	第8条	使用済自動車の引渡義務		0
新年の行兵//// に守に戻する/A 律)	第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃車時)	0
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律	第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡 し義務 簡易点検の実施(3ヶ月に1度)	0
下水道法	第22条	設計者等の資格	技術士	0
一般廃棄物処理	全般	沼津市一般廃棄物に関する条令	事業活動全般	0
建築基準法	全般		建築基準に基づいた設計	0
都市計画法	全般		都市計画法に基づく用地調査	0
道路構造令	全般		道路構造令に基づく道路設計・計画	0
測量法	全般		測量法に基づく測量	0
騒音規制法	全般		騒音規制法を考慮した道路及構造物設計・計画	0
振動規制法	全般		振動規制法を考慮した道路及構造物設計・計画	0
環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	Ō
地球温暖化対策推進法(地球 温暖化対策の推進に関する法 律)	第5条	自主努力義務、行政への協力(温室効果ガス抑制 措置)	EA21の取組	0
工/ 循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力(廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進)	0
資源有効利用促進法(資源の 有効な利用の促進に関する法 律)	第4条	指定再資源化製品のリサイクルへの協力(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	該当なし
グリーン購入法(国等による環 境物品等の調達の推進等に関 する法律)	第5条	自主努力義務、行政への協力	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選 択	0

全社員に、当社のコンプライアンスポリシーを配布し月1回のコンプライアンス委員会の開催で、法令遵守が確認できている。又測量業、建設コンサルタント・一級建築士事務所についての登録は更新済み。浄化槽の水質検査は2024年2月に指定検査機関により実施した。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2021年5月1日~2024年4月30日

2024年 5月 1日

当社に適用される環境関連法規等について状況確認を行った結果、違反は

当社に週日される環境関連法院等にプレイが、保証を行うに結果、進反は ありませんでした。 当社の事業活動による遵守すべき環境関連法規等に対する違反及び訴訟は過去 3年間ありませんでした。なお、廃棄物については契約業者により収集運搬から 処理処分まで適性に管理されています。

当社のSDGsの取り組み

2024年5月1日

「SDGs次世代へ繋ぐ未来への約束」を念頭に、達成に向け具体的な行動を 模索することで地域・社会の発展への寄与と豊かな社会環境の創造のため、 さらに一歩踏み込んだ活動に繋げます。

- ・ エネルギーを大切に使用し、CO2排出量削減対策への取り組みます。
- ・ 全従業員が環境に取り組むことの重要性を理解し省エネや廃棄物削減などに取り組みます。
- 業務において環境によい対策を提案します。
- ボランティア活動を通して地域・社会貢献に取り組みます。

【目標】温室効果ガス排出量を2013年比で2030年までに46%削減する(日本の削減目標)

基準年∶ 2013年 (実績)				
購入電力	90, 075	kwh		
ガソリン使用量	49, 249	Q		
CO2総排出量	157, 214	Kg-CO2		

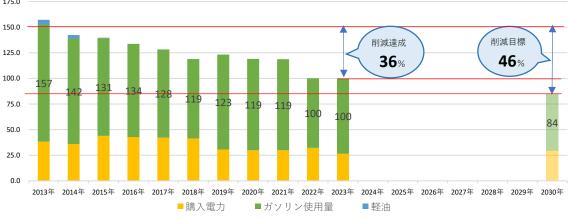
2023年 (今期実績)		
-31%	66, 038	kwh
-36%	31, 761	Q
-36%	100, 069	Kg-CO2

目標 : 2030年 (2013年度比)		
-23%	69, 160	kwh
-52%	23, 818	Q
-46%	84, 895	Kg-CO2

※削減目標はCo2換算で設定

(t -CO2)

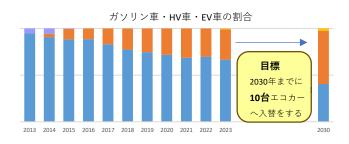
CO2総排出量経年変化と目標



2014年HV車導入









代表者による評価と見直し・指示

第40期(2023年度)は、中期目標(2021年度~2023年度)の最終期であった。

SDG s (持続可能な開発目標)の"行動の10年"は2020年1月にスタートし、その前半が経過しようとしているが、一方、世界各地では戦争・地域紛争の勃発や、異常天然現象による地震・洪水などの大規模災害が頻発しており、我が国でも、大規模地震災害の発生や、地球温暖化に伴う真夏日・猛暑日の増加、それに伴う局地集中豪雨の増加等、私たちの肌身でその脅威を実感する事象が起きている。静岡県においても第37期~第39期に続き第40期でも、豪雨による多数の公共土木施設災害が、特に県西部地域の広範囲に発生した。

SDG s は今や先進国中では常識といえるほど浸透してきたが、そうした社会情勢によりその積極的な推進についての意識がやや影を潜めつつあるのは遺憾なことといえよう。

そうした中、当社においては、企業価値の向上とともに次世代の社会要請に応えることを目指し、2009年6月にエコアクション21の認証・登録を得て、環境負荷の削減を図る経営に取組んでおり、SDGsの達成に向け、当社の本来的業務である「維持可能で強靱な国土と質の高いインフラ整備への取り組み」はもとより、グリーン社会の実現やカーボンニュートラルのための具体的な行動を模索している。

我が国が2021年に定めた国家目標(2030年時点における CO_2 排出量を、2013年比で46%削減)に対する当社の40期成果を、購入電力・ガソリンの主要2項目において、基準年(2013年)の当社実績との比較で概観すると、購入電力は電灯のLED化や太陽光パネルの設置により約31%余(38,282kg \rightarrow 26,363kg)を削減、ガソリン使用量もHV車の導入により36%余(114,341kg \rightarrow 73,686kg)の削減を実現し、その結果、2023年度末時点で36.3%余の CO_2 削減をすでに達成している。2030年までに国家目標を達成するには、残る7年間に累計で10%程度、各年で前年比2%程度の削減を今後毎年重ねていけば達成できることになる。よって、今後3年間の中期目標においても、2030年をターゲットとした長期戦略をたて、それに基づいて立案した。

なお、今期目標に対して検証すると、特にガソリン使用量が、HV車、EV車の導入にもかかわらず昨期に比し横這いの結果となり、これが主要因で最重要課題である CO_2 削減目標が達成できなかった。これは県中西部への事業展開量が増加し車両使用距離が増加したためと考えられる。今後はHV車等の積極導入・積極使用を推進しガソリン車の使用を抑制することや、エコドライブの推進などで目標達成に尽力していきたい。

今後も、これまで進めてきた環境方針・計画・実施体制の継続を、改めて全社員に対し 指示するとともに、ハイブリッド車等の更なる導入に加え、廃棄物リサイクルの推進、営 業拠点の活用、Web会議等の積極的な利用など、実効性のある環境貢献活動に努めていく。

> 2024 年 5 月 1 日 新日本設計株式会社 代表取締役 門奈 英治